

議 長 日程第1「認定第1号令和4年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について（一般会計決算審査特別委員会報告）」を議題といたします。

本件については、一般会計決算審査特別委員会の審査報告を求めます。一般会計決算審査特別委員会委員長 内田晃君。

一般会計決算審査
特別委員会委員長 それでは報告いたします。

令和5年8月24日、松田町議会議長 飯田一殿。一般会計決算審査特別委員会委員長 内田晃。

一般会計決算審査特別委員会報告書。本委員会は、8月23日、24日に委員11名中10名出席のもと、役場4階大会議室で委員会を開催し、令和5年第3回議会定例会において付託された認定第1号「令和4年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定」について、慎重に審査いたしましたので、次のとおり報告します。

記。1、審査の結果。採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

2、審査の内容。歳入については一括、歳出については各款を単位として、適切な執行がなされたかを中心に審査を行いました。

なお、次のことについて留意されたい。

（1）各種設計委託業務等成果品の概要説明は、適切な時期に行われたい。

（2）土地開発基金で購入した公共用地の買戻しが適切に行われていないので、計画的に執行されたい。

（3）監査員の指摘事項にある教育費の不用額について、詳細な説明を受けた。今後の予算執行において適切な対応をされたい。また、特産品開発事業補助金については、制度の見直しをされたい。

（4）財政調整基金は14億を超える現在高となったが、今後の新松田駅周辺整備事業の進展や広域における整備事業の町負担額の増加を見据えた今後の財政運営を図られたい。

以上です。

議 長 一般会計決算審査特別委員会委員長の報告が終わりました。議員全員による

特別委員会のため、質疑を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。質疑を省略して討論に入ります。まず、原案に反対の方の討論を許します。

11番 寺 嶋 それでは、反対討論から行わせていただきます。令和4年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について、反対の立場から討論を行います。

歳入決算額は前年度対比19.7%減の57億4,458万円、歳入決算額は前年度対比20.4%減の52億7,681万円で、歳入歳出差引4億6,777万円の剰余金が生じ、継続通次繰越の町道19号線町屋踏切改良事業、繰越明許費の戸籍電算システム改修事業ほか3事業及び事故繰越しの松田中学校施設整備事業(校舎改修設計委託料)に係る翌年度へ繰り越すべき財源8,266万円を除いた実質収支額は3億8,510万円となりました。実質収支残高が多くなっており、予算単年度主義に鑑み、今後は積極的な事業執行を検討されたい。

歳入では、自主財源の主たる町税は15億4,347万円となり、依存財源の地方交付税は13億448万円、国庫支出金8億4,452万円、町債3億8,040万円となりました。

歳出では、人件費、扶助費、公債費を含めた義務的経費は21億6,189万円となりました。

令和4年度末の地方債現在高は55億5,858万円となり、結果として町税の不納欠損額は114万円、収入未済額は6,237万円もあり、収納向上対策が求められています。

普通建設事業では、松田小学校整備事業、ジビエ処理加工施設建設事業、消防団第6分団消防車両の購入など実施しています。今後、新松田駅周辺整備事業が予定されており、扶助費や公債費の増加等で厳しい財政運営が予測されます。町民の暮らし、福祉の拡充に向けて財源確保を図り、町有地や空き地の有効活用など検討することです。

決算の評価として、コロナウイルス感染症対策事業や小児医療費助成を高校卒業まで拡充されたことは理解できますが、事業の未執行や不用額が多く見受

けられるので、十分精査して、適切な予算措置をすること。町の正規職員は定数114名に対し111名となっており、増やすこと。新松田駅南口駅前広場整備事業が滞っており、引き続き尽力すること。町消防団は129名で、前年度から8人減っており、町民の生命と財産を守る立場から、消防団員を増やすことなどを申し上げて、決算の反対討論とします。よろしくをお願いします。

議 長 次に、原案に賛成の方の討論を許します。

4 番 平 野 令和4年度一般会計歳入歳出決算について、賛成の討論をさせていただきます。

本年度は総額31億円の大型公共事業であった松田小学校整備事業の最終年度として、子供たちの声がこだまする木造校舎の南側に水はけのよいグラウンドが整備されました。校舎と体育館の屋根には太陽光発電も設置され、二酸化炭素排出だけでなく、高騰する電気料を抑制する効果もあり、また災害時の非常用電源として地域の安心に役立つことでしょう。新型コロナウイルス感染症が続く一方で、ウクライナなど国際情勢の不安定化もあり、物価が高騰する中、国からの臨時交付金を活用し、様々な感染対策と支援策を適切なタイミングで実施してきたことも今回の審査で改めて確認いたしました。チルドレンファーストを掲げ、近隣に先駆けて小児医療費助成を高校生まで拡充し、第2子の保育料も無償化しました。また、松田子どもカフェとして、対面だけでなくZ o o m参加も交え、まちづくりに対する小学生から大学生までの声を聞く取組も始まりました。

歳入総額57億4,460万、歳出総額52億7,680万、翌年に繰り越すべき額を差し引いた実質収支額は3億8,500万、町の貯金、財政調整基金は約15億と、過去最高レベルとなっております。投資的な事業も計画的に展開しつつ、福祉・教育など経常的な町民サービスも滞りなく実施されており、令和4年度の一般会計歳入歳出決算を認定すべきものといいたします。

議 長 ほかにございませんか。

ないようですので、討論を打ち切って御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。討論を打ち切り、採決を行います。認定第1号令和4年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について、委員会報告のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

起立多数であります。よって、本案は委員会報告のとおり認定されました。